

食農教育の推進は

小林 節子 議員



問：小林 節子議員
子供達へ食文化を伝承する食農教育推進の考えと米粉パンの進ちょく状況は。

答：小松睦示教育長

学校では、近くの水田や畑を利用して始めており、本年度はジャガイモを給食へ提供する準備を進めている。しかし教育の範囲が広がる中では、細かいところまでは行き届かないのが現状で、ご家庭でも指導して頂くのが好ましい。

また、伝統的食文化を継承させる人材の登録や、自発的なクラブの創設も必要と考えられる。

答：矢嶋民雄町長

コストなどの問題もあるが農村女性連絡会議を中心に試験的に実施していきたい。また給食などでも推進

したい。

問

町が進める健康づくり計画の中で、受動喫煙の対策は。

答：町長

法的に努力義務であり拘束力はないが、誰しもが健康に害があることは理解しているのので、喫煙室の設置や個人的モラルの啓発に努めたい。



「受動喫煙」それぞれの人の立場にたって・・・

問
八ヶ岳エコーラインの景観を守る対策と、乙事から先を延長する計画は。

答：町長

茅野・富士見・原にまたがる道路であり、現在は、県の八ヶ岳山麓景観形成条例の中で対応する予定である。なお、協議などの席でも盛り込んでいきたい。

先の部分が必要と考えているが、町独自の予算で行なわなければならないので現在は予定していない。

問：小林市子議員
アウトレットモール出店計画で、観光・経済効果が町の将来にどう結び付き、検討されるのか。

答：矢嶋民雄町長

業者から提示された事業計画概要から、年間三百万人の来客を予想。計画が実現した場合の経済・観光への波及効果は大きい。千人



「まちづくり」における開発のあり方は

小林 市子 議員

の雇用確保、税収増加の期待、パノラマスキー場利用者の増加、通過型観光客の飛躍的な増加が見込まれる。町として、計画の実行が確実となつてから検討するつもりである。

問

周辺の交通渋滞の事前対策、雨水や河川整備の地元との協議は。

答：町長

現段階では、最終的事業規模の具体的な数字が提示されていないので、各種法令手続きと並行し、今後協議する。景観への配慮、雨水対策は地元とも協議する。

問

地権者との間で不動産業者が土地賃貸借の仮契約を進めているが、町の対応はテクノ街道沿いの、町景観形成基本計画に基づく景観への配慮は。エブソンは、森林工場として立地し、環



開発が予定されている区域

境に配慮を払っているが。

答：町長

実際に来るのかは確信がある訳ではない。エブソンには、「こういう物が来るといふことがあります」とご挨拶してある。土地仮契約の問題は神戸・富原両区長に「安易に賃貸借契約を結ばないように」と申し上げた。土地問題は慎重に対応して欲しい。

答：植松克美企画財政課長
県・町が一体となり、地域住民と検討して行く。